

# 法務委員会

## 委員一覧 (21名)

委員長	山本 香苗 (公明)	岡田 広 (自民)	谷合 正明 (公明)
理事	磯崎 仁彦 (自民)	中川 雅治 (自民)	川合 孝典 (民主)
理事	豊田 俊郎 (自民)	福岡 資麿 (自民)	山添 拓 (共産)
理事	真山 勇一 (立憲)	森 まさこ (自民)	高良 鉄美 (沖縄)
理事	伊藤 孝江 (公明)	山崎 正昭 (自民)	嘉田 由紀子 (碧水)
理事	清水 貴之 (維新)	山下 雄平 (自民)	小川 敏夫 (無)
	小野田 紀美 (自民)	難波 奨二 (立憲)	山東 昭子 (無)
			(会期終了日 現在)

## (1) 審議概観

第204回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願18種類267件のうち、2種類58件を採択した。

### 〔法律案の審査〕

**裁判所職員定員法の一部を改正する法律案**は、裁判所の事務を合理化し、及び効率化することに伴い、裁判官以外の裁判所の職員の員数を17人減少しようとするものである。委員会においては、裁判所事務官を増員する理由と具体的な活用策、裁判官等の勤務実態を正確に把握する必要性、家事調停事件における裁判官の関与の在り方、司法分野における女性の活躍を促進するための取組の状況等について質疑が行われた。質疑を終局し、討論の後、採決の結果、本法律案は多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

**民法等の一部を改正する法律案**は、所有者不明土地の増加等の社会経済情勢の変化に鑑み、所有者不明土地の発生を防止するとともに、土地の適正な利用及び相続による権利の承継の一層の円滑化を図るため、

相隣関係並びに共有物の利用及び管理に関する規定の整備、所有者不明土地管理命令等の制度の創設並びに具体的相続分による遺産分割を求めることができる期間の制限等に関する規定の整備を行うとともに、相続等による所有権の移転の登記の申請を相続人に義務付ける規定の創設等を行おうとするものである。また、**相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律案**は、相続等による所有者不明土地の発生を抑制を図るため、相続等により土地の所有権を取得した者が、法務大臣の承認を受けてその土地の所有権を国庫に帰属させることができる制度を創設しようとするものである。委員会においては、両法律案を一括して議題とし、参考人から意見を聴取するとともに、相続登記の申請の義務化に伴う負担軽減策及び義務違反に対する過料の在り方、相続人申告登記制度の創設と遺産分割の促進、国庫に帰属した土地の活用方法、相隣関係や新たな財産管理制度等について周知広報を行う必要性、所有者不明土地問題について残された課題等について質疑が行われた。質疑を終局し、順次採決の結果、両法律案はいずれも全会一致を

もって可決された。なお、両法律案に附帯決議が付された。

**少年法等の一部を改正する法律案**は、成年年齢の引下げ等の社会情勢の変化を踏まえ、年齢満18歳以上20歳未満の特定少年に係る保護事件について、ぐ犯をその対象から除外し、原則として検察官に送致しなければならない事件についての特則等の規定を整備するとともに、検察官送致の決定がされた後の刑事事件の特例に関する規定は、特定少年には原則として適用しないこととする等の措置を講じようとするものである。委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、本法律案の立法事実、特定少年に関する原則逆送対象事件の範囲の妥当性、特定少年に対する推知報道の禁止を一部解除する理由、特定少年に対する家庭裁判所調査官の調査の在り方、犯罪被害者への支援を充実させる必要性等について質疑が行われた。質疑を終局し、討論の後、採決の結果、本法律案は多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

#### 〔国政調査等〕

**3月9日**、上川法務大臣から法務行政の基本方針について所信を聴取するとともに、令和3年度法務省及び裁判所関係予算について田所法務副大臣及び最高裁判所当局から説明を聴取した。

**3月16日**、法務行政の基本方針に対する質疑を行い、京都 kongress の成果及び今後の展開についての法務大臣の見解、選択的親権制度の必要性に対する法務大臣の見解、親の別居・離婚を経験した子に対する調査の活用方法と更なる実態調査を行う必要性、国際仲裁の拠点と国際金融センターとの連携の必要性に対する法務大臣の認識、技能実習生に労働環境等を報告させる制度の創設に対する法務大臣の見解、東京

出入国在留管理局における収容者の新型コロナウイルス感染症の集団感染への対応、未成年期に父母の離婚を経験した子の養育に関する事例集を作成する必要性、家族法の見直しに関する理念についての法務大臣の見解等が取り上げられた。

**3月22日**、予算委員会から委嘱された令和3年度法務省予算等の審査を行い、民事訴訟手続におけるウェブ会議を用いた争点整理の運用状況、保護司のなり手が不足している現状を踏まえた保護司を確保するための具体的施策、ASEAN諸国との司法外交の重要性及びその対策についての法務大臣の見解、性犯罪受刑者の出所後の所在等の情報の地方公共団体との共有の在り方、全国の入管収容施設の医療提供体制の現状、離婚調停事件等において面会交流が争点となった場合の審理の進め方、選択的夫婦別氏制度の導入に向けて法務大臣が積極的な姿勢を示す必要性、協議離婚を認める要件として共同養育計画の作成を義務付ける必要性等が取り上げられた。

**3月30日**、法務及び司法行政等に関する質疑を行い、夫と妻の二つの名字を夫婦の氏とする結合氏制度や複合氏制度に対する法務大臣の見解、不倫相手と同棲し子供は実家に預けている事実が監護者の指定等の判断に与える影響、児童相談所による一時保護開始後速やかに司法審査を行う場合の裁判所の不都合の有無、犯罪被害者支援の地域間格差に対する政府の認識、名古屋出入国在留管理局における被収容者の死亡事案に関する現段階の調査結果、大深度地下法に基づいた工事による陥没等で生じた権利侵害に関する法務大臣の見解、国連人種差別撤廃委員会からの勧告等を踏まえ調停委員の国籍要件を見直す必要性、夫婦間及び元夫婦間における子供の連れ去りと未成年者略取誘拐罪の検挙件数との関係等が取

り上げられた。

4月8日、法務及び司法行政等に関する質疑を行い、被疑者取調べへの弁護人の立会いについての検討を開始する時期、家庭裁判所が母親に対して乳児の監護権や引渡しを認めないことの妥当性、ミャンマーの政情不安に関連した難民認定申請を適切に取り扱う必要性、民事訴訟手続におけるウェブ会議の導入による現状の課題及びメリット、外国人労働者向けの相談窓口の整備状況についての法務大臣の認識、性交同意年齢を少なくとも16歳未満に引き上げるべきとの指摘に対する法務大臣の見解、外国籍弁護士の調停委員の任用に帰化を求めることが国籍による差別であるおそれ、法制審議会の委員及び幹事の選定手続とその根拠等が取り上げられた。

4月27日、法務及び司法行政等に関する質疑を行い、技能実習生の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生についての法務大臣の認識、政令指定都市にある地方裁判所支部で合議制を実施しない理由、養育費の統一的な算定基準や算定方法を法定し具体額の算定を容易にする必要性、新型コロナウイルス変異株流行国・地域からの入国者に対する検査体制、名古屋入管の被收容者の死亡事案の調査に関する法務大臣の認識、登記簿等の公開に関する事務の民間競争入札の不調が多数の法務局で複数回生じた要因、選択的夫婦別氏制度の導入に関する法務大臣の決意、法制審議会において法務省職員が議決権を行使する際の法務大臣の指揮監督の有無等が取り上げられた。

## (2) 委員会経過

### ○令和3年3月9日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 法務及び司法行政等に関する調査を行うことを決定した。
- 法務行政の基本方針に関する件について上川法務大臣から所信を聴いた。
- 令和3年度法務省及び裁判所関係予算に関する件について田所法務副大臣及び最高裁判所当局から説明を聴いた。

### ○令和3年3月16日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 法務行政の基本方針に関する件について上川法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。  
〔質疑者〕

磯崎仁彦君(自民)、真山勇一君(立憲)、伊藤孝江君(公明)、清水貴之君(維新)、川合孝典君(民主)、山添拓君(共産)、高良鉄美君(沖縄)、嘉田由紀子君(碧水)

### ○令和3年3月22日(月) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

### ○令和三年度一般会計予算(衆議院送付)

#### 令和三年度特別会計予算(衆議院送付)

#### 令和三年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(裁判所所管及び法務省所管)について上川法務大臣、小野田法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。  
〔質疑者〕

渡辺猛之君(自民)、真山勇一君(立憲)、谷合正明君(公明)、清水貴之君(維新)、川合孝典君(民主)、山添拓君(共産)、高良鉄美君(沖縄)、嘉田由紀子君(碧水)

本委員会における委嘱審査は終了した。

### ○令和3年3月30日(火) (第4回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 夫婦の氏の在り方に関する件、離婚後の子の養育に関する件、児童相談所による一時保護への裁判所の関与に関する件、犯罪被害者の支援に関する件、名古屋出入国在留管理局における被收容者の死亡事案に関する件、大深

度地下工事による権利侵害に関する件、調停委員の任命に関する件、一方の親による子の連れ去りに関する件等について上川法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、真山勇一君（立憲）、伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について上川法務大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和3年4月6日（火）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について上川法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、真山勇一君（立憲）、伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

（閣法第15号）

賛成会派 自民、公明、維新、民主、碧水  
反対会派 立憲、共産、沖縄

欠席会派 無（小川敏夫君、山東昭子君）

なお、附帯決議を行った。

○令和3年4月8日（木）（第6回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○被疑者取調べへの弁護人の立会いに関する件、離婚後の子の養育に関する件、難民認定制度に関する件、訴訟手続のIT化に関する件、外国人労働者向けの相談窓口に関する件、刑法における性犯罪規定の見直しに関する件、調停委員の任命に関する件、法制審議会の委員等の任命に関する件等について上川法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、真山勇一君（立憲）、

谷合正明君（公明）、清水貴之君（維新）、川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○民法等の一部を改正する法律案（閣法第55号）（衆議院送付）

相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律案（閣法第56号）（衆議院送付）

以上両案について上川法務大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和3年4月13日（火）（第7回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○民法等の一部を改正する法律案（閣法第55号）（衆議院送付）

相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律案（閣法第56号）（衆議院送付）

以上両案について上川法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、真山勇一君（立憲）、伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

また、両案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年4月15日（木）（第8回）

○民法等の一部を改正する法律案（閣法第55号）（衆議院送付）

相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律案（閣法第56号）（衆議院送付）

以上両案について次の参考人から意見を聞いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

日本司法書士会連合会会長 今川嘉典君

日本土地家屋調査士会連合会会長 國吉正和君

全国青年司法書士協議会会長 阿部健太郎君

公益財団法人東京財団政策研究所研究員・研究部門主任 吉原祥子君

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○令和3年4月20日（火）（第9回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○民法等の一部を改正する法律案（閣法第55号）  
（衆議院送付）

相続等により取得した土地所有権の国庫への  
帰属に関する法律案（閣法第56号）（衆議院送  
付）

以上両案について上川法務大臣、政府参考人  
及び最高裁判所当局に対し質疑を行った後、  
いずれも可決した。

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
谷合正明君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

（閣法第55号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、  
共産、沖縄、碧水

反対会派 なし

欠席会派 無（小川敏夫君、山東昭子君）

（閣法第56号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、  
共産、沖縄、碧水

反対会派 なし

欠席会派 無（小川敏夫君、山東昭子君）

なお、両案について附帯決議を行った。

○令和3年4月27日（火）（第10回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○技能実習生の新型コロナウイルス感染症のク  
ラスタ発生に関する件、地方裁判所支部に  
おける合議制に関する件、養育費の金額の決  
定の在り方に関する件、新型コロナウイルス  
感染症の水際対策に関する件、名古屋出入国  
在留管理局における被収容者の死亡事案に関  
する件、法務局における登記簿等の公開に関  
する事務に関する件、選択的夫婦別氏制度に  
関する件、法制審議会の在り方に関する件等

について上川法務大臣、政府参考人及び最高  
裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

磯崎仁彦君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35  
号）（衆議院送付）について上川法務大臣から  
趣旨説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求め  
ることを決定した。

○令和3年5月6日（木）（第11回）

○少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35  
号）（衆議院送付）について次の参考人から意  
見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

東京大学大学院法学政治学研究科教授 橋  
爪隆君

弁護士 川村百合君

自営業 大山一誠君

〔質疑者〕

山下雄平君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○令和3年5月11日（火）（第12回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35  
号）（衆議院送付）について上川法務大臣、政  
府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を  
行った。

〔質疑者〕

山下雄平君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○令和3年5月13日（木）（第13回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35  
号）（衆議院送付）について上川法務大臣、政  
府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を

行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、難波奨二君（立憲）、  
谷合正明君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○令和3年5月18日（火）（第14回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）について上川法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、真山勇一君（立憲）、  
伊藤孝江君（公明）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

○令和3年5月20日（木）（第15回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 少年法等の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）について上川法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

真山勇一君（立憲）、清水貴之君（維新）、  
川合孝典君（民主）、山添拓君（共産）、高  
良鉄美君（沖縄）、嘉田由紀子君（碧水）

（閣法第35号）

賛成会派 自民、公明、民主

反対会派 立憲、維新、共産、沖縄、碧水

欠席会派 無（小川敏夫君、山東昭子君）

なお、附帯決議を行った。

○令和3年6月16日（水）（第16回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第1270号外57件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第30号外208件を審査した。
- 法務及び司法行政等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。